

IV. 令和6年度前期 南紀熊野サテライト開講授業

1. 大学院授業

授業科目名 (英文表記)	開発経済学 (Development Economics)		
単位数	1	授業形態	講義
担当教員	金澤 孝彰		
開講	南紀熊野サテライト	区分	大学院
実施日・時間	第1回：5月11日(土) 13:00～17:00	第3回：5月25日(土) 13:00～17:00	
	第2回：5月18日(土) 13:00～17:00		
<p>【授業のねらい・概要】</p> <p>アジアおよびサブサハラ・アフリカを主たる考察対象地域として、それらの地域での貧困問題解決につながる産業分野での技術革新や集積の効果について考察していく。</p> <p>【授業計画】</p> <p>第1回 貧困問題の解決を目指す開発経済学(教科書第1章) 農業の特性① 農家規模と生産性(同 第2章) 農業の特性② 所有権・小作契約・生産性(同 第3章)</p> <p>第2回 製造業の特性① 産業集積の発展パターン(同 第4章) 製造業の特性② 適正な技術と産業の選択(同 第5章) 技術移転と農業発展① アジアの緑の革命(同 第6章)</p> <p>第3回 技術移転と農業発展② アフリカの緑の革命(同 第7章) 技術移転と工業化 産業集積の発展(アジアとアフリカそれぞれの事例)(同 第9章・第10章)</p> <p>【到達目標】</p> <p>受講院生各自が新興国の現在の経済をめぐる諸問題の理論的、制度的、歴史的背景を把握できるようにする。</p> <p>【成績評価の方法】</p> <p>100点満点のうち、授業中での議論参加ぐあいを50点満点、最終回での単位認定レポート提出を50点満点とする。</p> <p>【教科書】</p> <p>大塚啓二郎(著)『「革新と発展」の開発経済学』東洋経済新報社、2023年</p> <p>【参考書・参考文献】</p> <p>戸堂康之(著)『開発経済学入門(第2版)』新世社、2021年 山形辰史(著)『入門 開発経済学—グローバルな貧困削減と途上国が起こすイノベーション』中公新書、2023年</p> <p>【履修上の注意・メッセージ】</p> <p>集中講義は5月ですが、4月の履修登録確定時点で、上記の使用教科書(大塚(著))の章別内容発表者を私の方で指名して決めます。したがって、履修登録確定後必ずすぐに教科書を買っておき、内容発表でどの章が割り当てられてもよいように必ず全12章を読んでおいてください。</p> <p>【履修をする上で必要な事項】</p> <p>授業は対面とオンライン(Teams)のハイブリッドで行いますので、発表者はプレゼン用のPPTをTeamsにアップできるようにしておいてください。</p> <p>【授業時間外学修についての指示】</p> <p>予習学修については、授業で提示いたしました内容について行ってまいります。また復習については、授業終了後に授業で教示しました内容についてまとめていってまいります。いずれの作業にも、授業内容と関連したことを調べたり、構想するために相当の時間を要します。</p> <p>また『日本経済新聞』の国際面での途上国関連記事や開発援助関連記事や論説にも目を通しておくこと。</p>			